

島根県の地震

令和元（2019）年9月

・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。

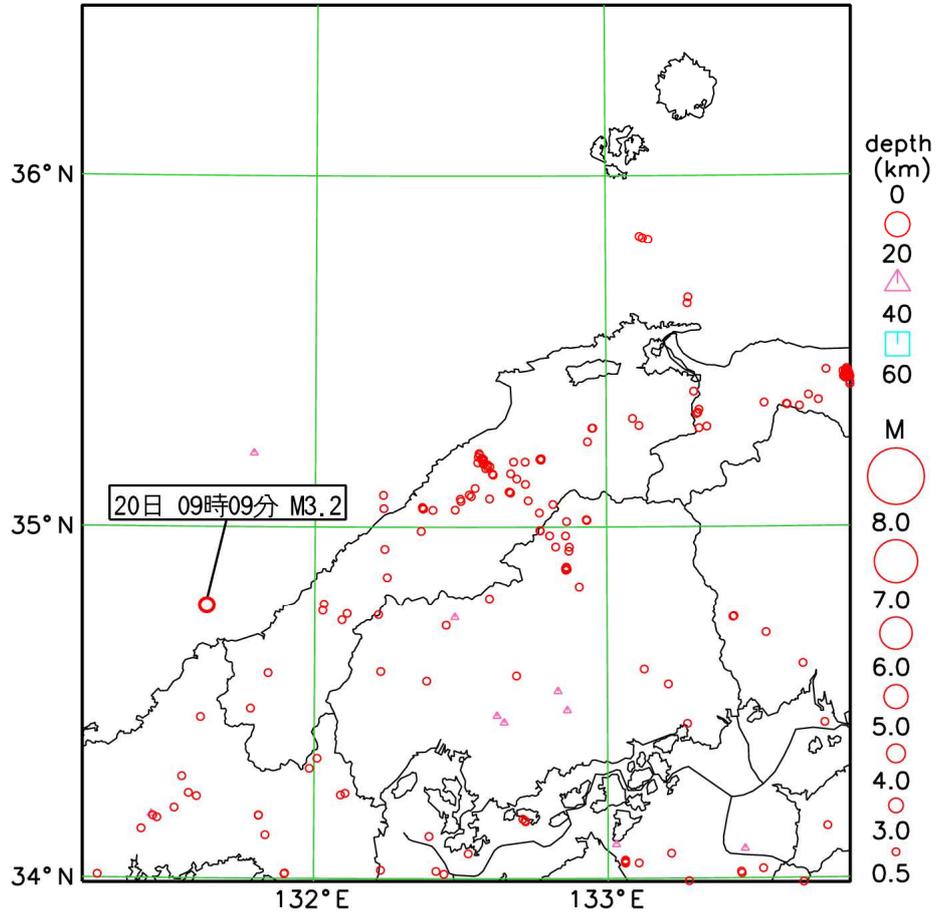
・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用しています。

松江地方気象台

島根県およびその周辺地域の地震活動 2019年9月1日～30日

2019 09 01 00:00 -- 2019 09 30 24:00

N=215



[概況]

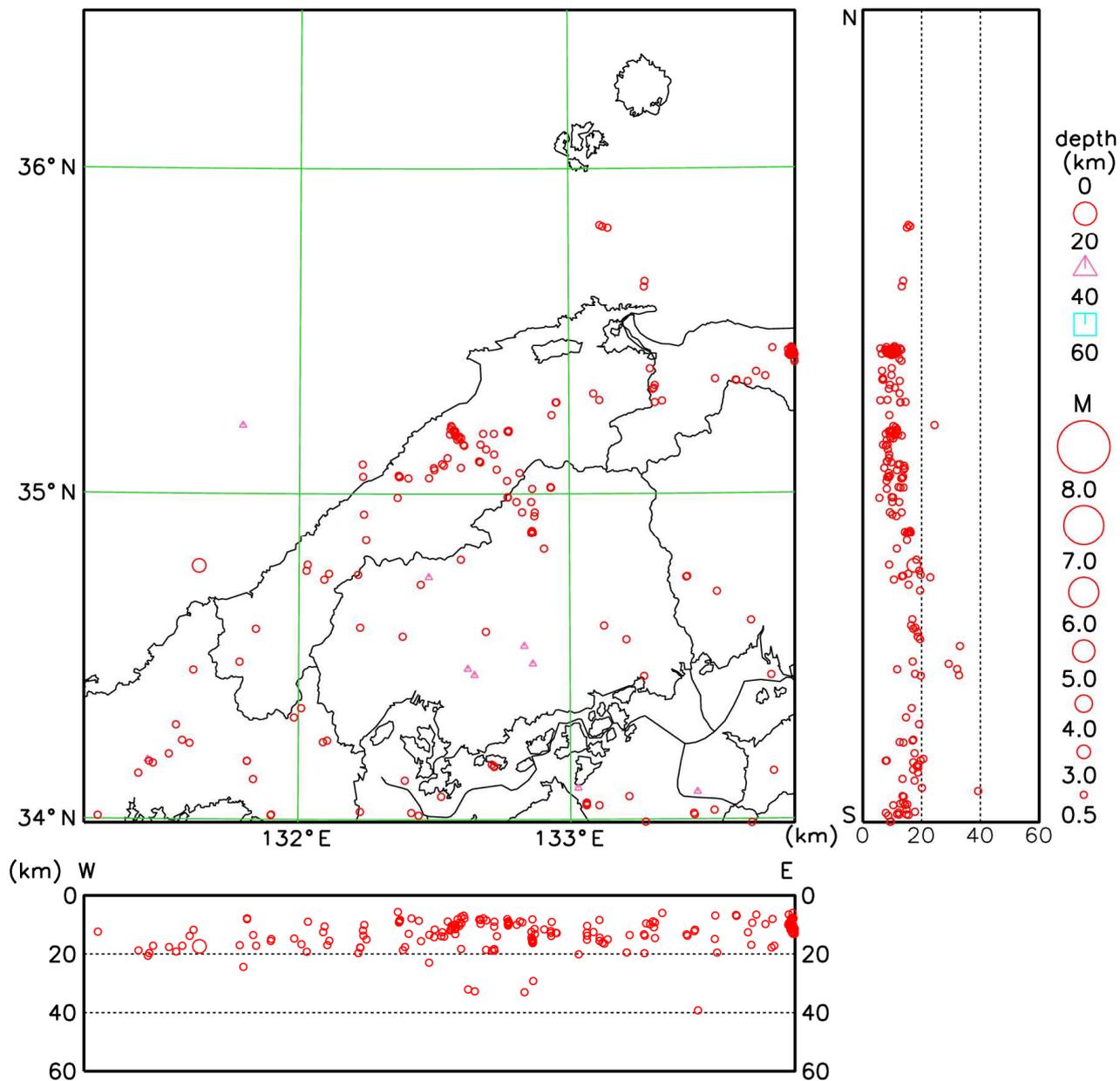
今期間、M0.5以上を観測した地震は215回（8月は177回）でした。

また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、1回でした。

20日09時09分 山口県北西沖の地震（深さ17km、M3.2）により、浜田市・益田市で震度1を観測したほか、山口県で震度1を観測しました。

[断面図]

2019 09 01 00:00 -- 2019 09 30 24:00



9月の島根県内の地震表（震度1以上）

発震日（年月日時分） 各地の震度（島根県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2019年09月20日09時09分	山口県北西沖	34° 46.5' N	131° 37.8' E	17km	M3.2
----- 地点震度 -----					
島根県 震度 1：浜田市三隅町三隅*，益田市常盤町*					

・地点名の後に*がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

【観測点震度分布図】

2019年9月20日09時09分 山口県北西沖



2019年度前期（4月～9月）に島根県で震度1以上を観測した地震

2019年度前期（4月～9月）に島根県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は7回でした。

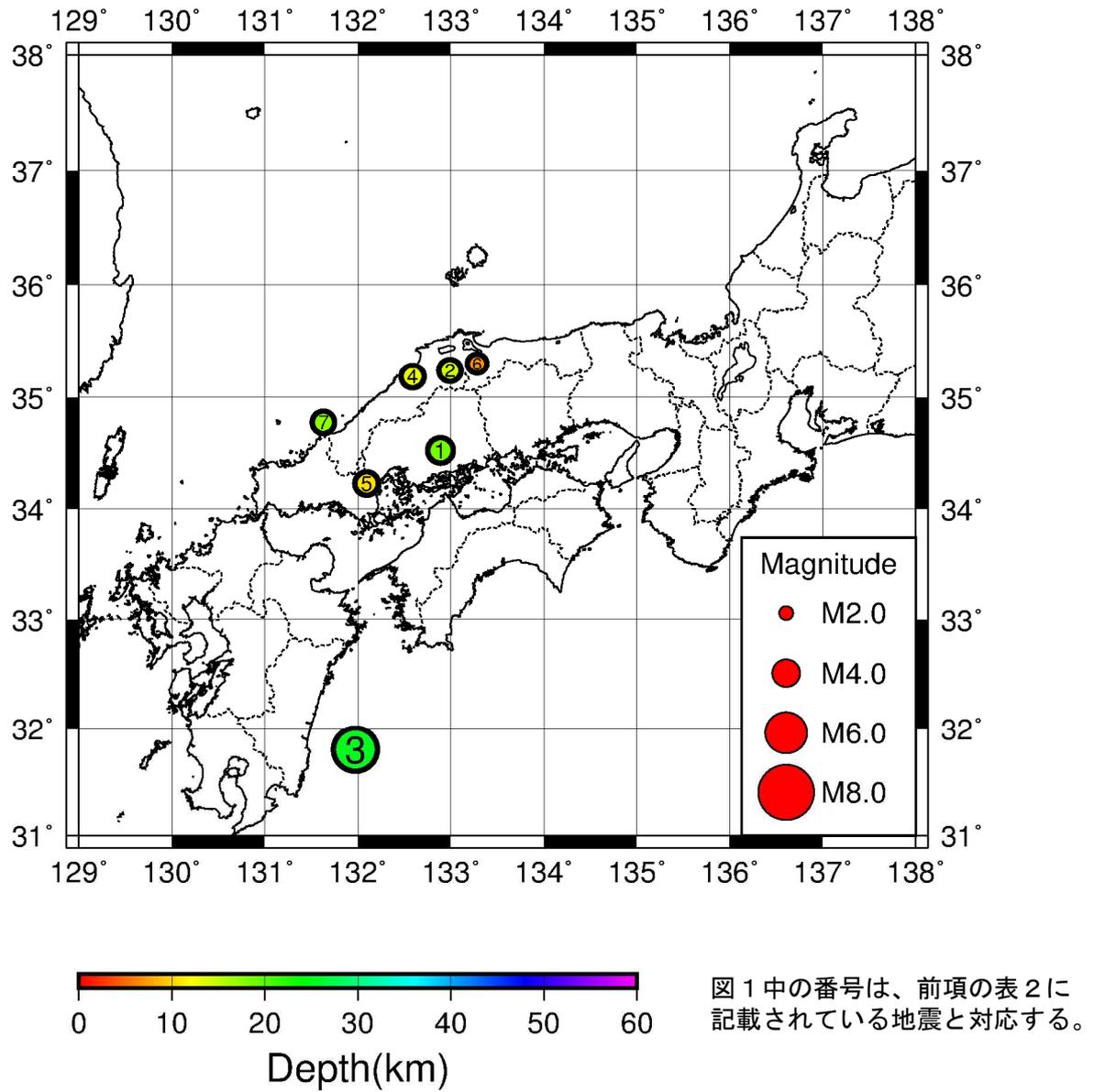
[表1]2019年度前期（4月～9月）に島根県で震度1以上を観測した地震の月別回数

	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7	合計
4月	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
5月	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
6月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7月	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	4	3	0	0	0	0	0	0	0	7

[表2]2019年度前期（4月～9月）に島根県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震と観測点の震度

No.	震源時年月日時分	震央地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード
1	2019年04月17日14時35分	広島県南東部	34° 31.4' N	132° 53.3' E	19km	M3.7
		島根県 震度 1：奥出雲町横田*、浜田市三隅町三隅*、島根美郷町都賀本郷*、邑南町淀原* 邑南町瑞穂支所*				
2	2019年04月18日10時04分	島根県東部	35° 14.4' N	132° 59.5' E	14km	M3.2
		島根県 震度 1：雲南市大東町大東、雲南市三刀屋町三刀屋*、奥出雲町三成*				
3	2019年05月10日08時48分	日向灘	31° 48.0' N	131° 58.4' E	25km	M6.3
		島根県 震度 2：出雲市今市町、出雲市塩冶有原町*、出雲市大社町杵築南*、浜田市殿町* 益田市常盤町*、大田市仁摩町仁万* 震度 1：出雲市平田町*、出雲市湖陵町二部*、出雲市斐川町莊原*、安来市安来町* 浜田市三隅町三隅*、益田市匹見町石谷				
4	2019年05月17日14時42分	島根県西部	35° 11.1' N	132° 35.3' E	13km	M3.3
		島根県 震度 2：大田市大田町* 震度 1：雲南市三刀屋町三刀屋*、大田市仁摩町仁万*、大田市温泉津町小浜* 川本町川本*、島根美郷町君谷、島根美郷町粕淵*、島根美郷町都賀本郷*				
5	2019年06月15日07時25分	山口県東部	34° 13.7' N	132° 05.7' E	11km	M3.4
		島根県 震度 1：吉賀町六日市*				
6	2019年07月08日18時51分	島根県東部	35° 18.1' N	133° 17.0' E	7km	M2.8
		島根県 震度 2：安来市伯太町東母里*				
7	2019年09月20日09時09分	山口県北西沖	34° 46.5' N	131° 37.8' E	17km	M3.2
		島根県 震度 1：浜田市三隅町三隅*、益田市常盤町*				

注：*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。
 : 震央分布図（5ページ記載）には最大規模の地震のみ吹き出しを表示しています。
 : 震源が複数記載されている地震は、ほぼ同時刻に発生した地震であるため、震度の分離ができないものです。



[図1] 2019年度前期（4月～9月）に島根県で震度1以上を観測した地震の震央分布図

地震一口メモ

11月5日は「津波防災の日」です

平成23年3月11日に発生した「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」により、我が国は未曾有の災害、特に津波による甚大な被害に見舞われました。これを受けて、平成23年（2011年）6月に、津波による被害から国民の生命、身体及び財産を保護することを目的とした「津波対策の推進に関する法律」が制定されました。

この法律では、津波の観測体制の強化、調査研究の推進、防災上必要な教育や訓練の実施、施設の整備、被害の予測、津波対策を推進するための事項等が定められています。そして、国民の間に広く津波対策についての理解と関心を深めるために、11月5日を「津波防災の日」とすることが定められました。



平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震：鈴木亨(岩手県大槌町消防団)撮影

また、平成27年12月22日開催の第70回国連総会本会議で、11月5日を「世界津波の日」と定める決議が採択されました。この決議は、我が国をはじめ142か国が共同提案したもので、「世界津波の日」の制定の他、早期警報、伝統的知識の活用、「より良い復興」を通じた災害への備えと迅速な情報共有の重要性を認識すること、すべての加盟国、組織、個人に対して、津波に関する意識を向上するために、適切な方法で、世界津波の日を遵守することを要請すること等が含まれています。

「11月5日」は、今から160年前の安政元年11月5日（太陽暦では、1854年12月24日）に発生した安政南海地震で、紀州藩広村（現在の和歌山県広川町）を津波が襲った時、浜口儀兵衛（梧陵）が稲むら（取り入れの終わった稲わらを屋外に積み重ねたもの）に火をつけて、村人を安全な場所に誘導したという実話にちなみます。その後、浜口儀兵衛は、再来するであろう津波に備え、巨額の私財を投じて広村堤防を作っています。安政南海地震から92年後の昭和21年（1946年）12月21日、昭和南海

地震が発生し、高さ 4～5 メートルの大津波が広村を襲いましたが、浜口儀兵衛の作った堤防は、村の居住地区の大部分を護っています。

この安政南海地震と濱口儀兵衛（梧陵）の行いを、中井常蔵が子供たちにも分かり易く短くまとめた物語が、「稲むらの火」です。この作品は、昭和 12 年から 10 年間も小学国語読本（5 学年用）に採用され、現在でも様々なところで援用される不朽の防災教材として知られています。

実は、この名作の元になった作品が島根県にゆかりのある小説家、小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の手によって書かれています。代表作「怪談」を執筆するきっかけとなりハーンが住んだ地が松江です。ハーンは、濱口儀兵衛（梧陵）の行いをもとに「A Living God (生き神様)」という作品を発表していました。日本では尊敬される人物は生きながらにして神として祀られることがあるとして、“濱口五兵衛”という人物が、取り入れたばかりの稲むらに火を放って村人たちを高台に導き村人たちを津波から救った、と記しています。中井常蔵はこの物語に感動し、「稲むらの火」を執筆したのです。

わずかであれ島根県が津波防災の日に関わっていたことを知った今、津波対策について考えることが少し身近に感じられるようになったのではないのでしょうか。国民の理解と関心を高めるため、全国各地で防災訓練の実施やシンポジウム等が開催されます。地震や津波はいつどこで起こるか分かりません。11 月 5 日は、地震や津波から命を守るための「備え」について改めて考え、行動する日としましょう。

<津波防災の日、もう少し詳しく>

http://www.bousai.go.jp/kohou/kouhoubousai/h26/76/special_01.html

<津波防災特設サイト>

<http://tsunamibousai.jp/>

<緊急地震速報の訓練（令和元年 11 月 5 日）>

※独自の訓練の方法も掲載しています。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/kunren/2019/02/kunren.html>

<稲むらの火>

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami/inamura/p1.html>